うたごえは平和の力！
平和のうたごえを更に高め
戦争準備の
安保体制に反対しよう

うたごえ新聞

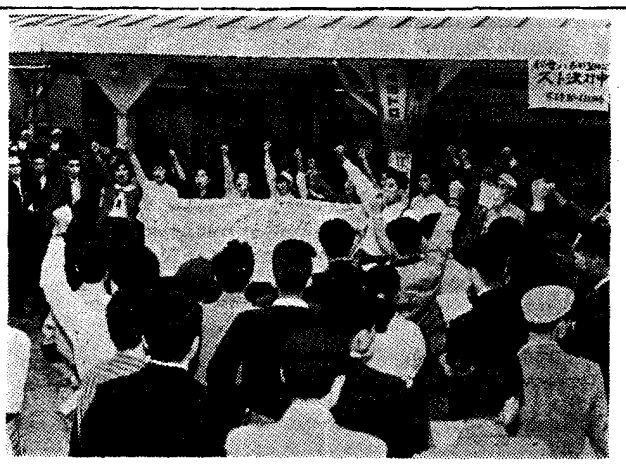
編集　日本のうたごえ実行委員会
発行　音楽センター
東京都新宿区西大久保3の67
電話（361）5220～1
1カ月　30円（干共）
3カ月　90円、6カ月180円、1年350円

安保破棄の斗いを更に進めよう！

安保阻止うたごえ行動隊
東京で活躍

東京における安保斗争の中でのうたごえ行動隊活動は、各団体の独自活動と、警職法斗争の経験はあったが、事実上の安保阻止うたごえ行動隊の組織は五月一日に発会式を行った。中央合唱団員は研究生も含めて全員四〇〇名が加盟し活動を開始した。この中で合唱団白樺、新宿合唱団がいち早く加わり職場の中に地域の中に安保ハネ返す力をつくって行こう、と五月七日東京のうたごえ活動家会議が開かれ、活動方針をきめた。参加団体は地域一五、産別四で職場の活動家は職場に組織するという方針を決定し進められた。行動は第一六次から現在まで五回と独自に四回、拠点ストライキ（国鉄、私鉄等）には三回、延二〇〇〇名にのぼるうたごえの仲間が加わった。この中での成果としては、全国的に広める歌が決定されるとすぐにその歌を広めた。〝ガンバロウ！〟特に〝どんと来い！〟はこの活動を通して全労働者のものになって行った。またこれらの行動のうたごえ活動家会議が開かれ、うたごえを真の国民のものにする活動は何か、ということが明らかにされて行った。今後の問題点としては、またまたうたごえ行動隊の活動がうたごえに結集している仲間全体のものとなっていない事、それぞれの行動隊班の活動が日常的な活動の中でどう生かされるかという点で弱い事があげられる。

中央合唱団としては研究生がこの斗いに行動隊として斗う労働者の一人として参加し活動して行った6・4、6・15、6・22のゼネストには五〇〇名の徹宵と二〇〇名の早朝参加があった。これは全員が三池支援の活動を展開する中でそれを全国民の斗いの中へ発展させる活動として、その活動を全員が受けついで、国鉄中心のストライキの中で、労働者の斗いの心の叫びを歌い、拡めて行った。研究生も含めて国全体が一致して斗いに参加出来たのは、一人一人が労働者として、安保破棄の斗いに加わり、自分達の叫びとして歌い拡めて行った中で確信を強めたからといえよう。この事はこれらの活動に参加した他のうたごえの仲間にとっても同じである。今後更にこの活動を全地域、全職場に拡大し、関東、東京のうたごえ祭典も中央合唱団10周年記念音楽会を成功させる活動の中で発展させる必要があろう。特に労働者大衆の中で歓迎されたのは〝燃やせ斗魂〟〝インターナショナル〟〝民独〟で柳さんの墓前での〝同志は倒れぬ〟の後、行進をしながらの〝ワルシャワ労働歌〟は共感の嵐のような拍手をもって迎えられ〝正夫星〟〝かえ歌〟〝安保反対かえ歌〟はみんなから大きな支持を得、うたい拡まっている。


国鉄、私鉄ストの応援に行ったうたごえ行動隊（東京）

三池の警官隊これが国会でも暴力をふるった

総会で活動方針決る
関西学生のうたごえ協議会

第四回関西学生のうたごえ協議会総会は五月三日奈良大で開かれた。阪大プロイント、関大、京大同大、立命大、奈女大、奈学大、天理大、神戸大、約六〇名が集り経過報告、活動方針案、新安保反対声明について討論をした。音楽の普遍性と階級性の問題、学生のうたごえの特殊性、音楽の価値基準、芸術性についての定義、国民音楽の創造における階級性、民族性の問題を今後も究明して行く事を確認した。又、七月三日の国鉄のうたごえには積極的に協力し、三池支援はカンパと行動隊派遣を新委員会で取り組む。国際学連の歌は新訳で広めて行く事を決議した。尚京都ブロック、大阪ブロック、奈良ブロックの活動報告があり、各地域のうたごえに向けては合同練習、組織活動では高校生サークルを強化してゆく事が出された。

日本のうたごえ研究集会
参加者百名を越す

五月二十九、三十日二日間に亘り〝日本のうたごえ研究集会〟が熱海国鉄職員会館で開かれた。参加者は予定の六〇人をはるかに上まわる百数十人の仲間が参加した第一日目は、井上先生の「日本のうたごえ運動における音楽的側面について」実行委員会事業局長今藤勝成氏の「うたごえ運動における組織問題について」を中心に質疑、討議が行われ、第二日目は関先生による「うたごえ運動におけるうたごえの歴史と音楽的課題について」の講演があり、更に午後日本のうたごえ実行委員会を開いて当面の問題について討議した。この研究集会は現時点の安保斗争、三池斗争の激しい情勢の下にあって、うたごえ活動家の意志を統一し、運動を更に発展させるため、真剣な討議がなされた。特に集中した問題は①うたごえは斗いと共にうたごえは平和の力のうたごえ運動の原則を再確認しよう。②三池斗争の中でのうたごえ行動隊の成果を更に全体のものにし、その教訓を活動の中で具体的に現実化し、それと併せ創作活動を強めよう。③運動のめざす、国民音楽の内容を形づくる活動を意識的にとりくもう。④民族音楽を深く掘り起そう、中心合唱団は、その任務を更にはっきりさせ、活動スタイル、演奏スタイルを確立しよう、等が討議され、結論として「この激しく厳しい情勢の中で研究集会の成功を明日からの実践で確実なものにしよう」とし更に〝安保反対のための声明文〟を決議し第一回目の日本のうたごえ研究集会を成功裡に終りこの研究集会を今年一回のものでなく今後更に持とうということが申し合われた。

『安保斗争の歌』楽符依頼
中国音楽家協会から

関鱒子　同志

私達中国音楽界と中国人民は、いかなる時いかなる場所においても深く日本国民の反帝愛国の正義の斗いに注目しており、そしてまた日本の音楽家がこの英雄的な斗いの中に創り出した、広く大衆の唱える歌曲を、わが国の人民に紹介していただき、日中両国人民が共同の敵＝アメリカ帝国主義に反対する斗いの中に、歌ごえをとおしてさらに団結を強めることを大変希望しております。もし（貴女が）日本の音楽家がこの反米愛国の斗いの中で作りだした歌曲を選んで早速に私共にお送り頂くことができれば私達に最大の激励となります。

つつしんでお願いするとともに、斗いに敬礼を送ります。

中国音楽家協会

六月廿一日

関先生から返事の電報を送るとともに、

「正夫星」（木下航二曲）
「どんと来い」（荒木栄曲）
「みんなで敵をうて」（荒木栄曲）
「がんばろう」（荒木栄曲）
「立ちよれ」（林光曲）

以上五曲の楽符を中国音楽家協会に送り、さらにいま中国で創られ、歌われている斗争歌の楽符の送付方を依頼した。

訂正とお詫び

前号二面の楽符中拍子記号が、8／12になっております。又、説明文中にも12分の8になっておりますが、いずれも8分の12と訂正し、作曲者及び、読者の皆様にお詫びを致します。

われわれは新安保条約に反対する

私たちは今、岸政府が強行しようとしている新安保条約の批准が新しい戦争を準備する体制をつよめることになると考え、平和を愛するものとして反対して来ました。

しかし政府は、多数の国民の意志をふみにじり、五月二〇日未明国会に於て警察官に守られながら自民党だけで一方的に新安保条約を可決しました。

私たちは非民主的な暴挙に憤りと共に戦争への大きな不安を感じます。

今こそ平和を願う私たちの希望を率直に声を大きくして叫ばねばなりません。

日本のうたごえ実行委員会は、次の事を声明します。

一、新安保条約に関する国会の此度の議決を認めることは出来ない。

二、このような非民主的な暴挙を行った岸内閣は辞職すべきである。

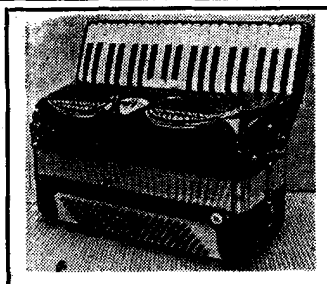
三、国会を解散して国民の意志を問うべきである。

私たちは、平和のうたごえを愛するものとして新安保条約が阻止されるまで全国民と共に以上の主旨を貫く活動を進めます。

一九六〇年五月

日本のうたごえ
実行委員会

世界の名器
エキセルシアー
アコーデイオン！
音楽センター
御推奨！



NO.400　¥75,000
¥350,000　各種中型・大型
（美麗カタログ進呈）
株式会社 谷口楽器　千代田区御茶ノ水明大前
TEL（201）2711—3
購入の申込みと相談は音楽センターへ